

Qriom

デジタルボイスレコーダー

VR-SU901

取扱説明書（保証書付）

ご使用になる前に

この取扱説明書（保証書付）を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分

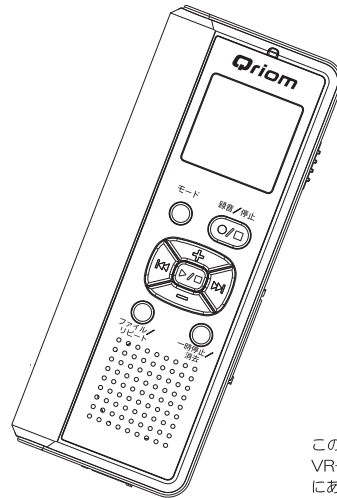
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

E-mail: support@qriom.com

ホームページ: <http://www.qriom.com>



この度は、デジタルボイスレコーダーVR-SU901をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

V1.090518

P7

はじめに

P15

基本的な
使い方

P24

録音する

P26

再生する

P31

ファイル
を削除する

P39

パソコンで
使用する

P70

付録

目次

1. 安全上の警告およびご注意	4	録音残時間を表示する	22
2. ご使用の前に	6	録音したファイルの録音日時を表示する	22
電池に関する注意	6		
使用できる電池について	6		
3. はじめに	7	5. ボイスレコーダー	23
製品の特長	8	録音する	24
本体各部の名称	9	再生する	26
付属品一覧	10	早戻し/早送り	27
画面の説明	11	一時停止	27
モノラルイヤホンの使い方	12	リピート再生する	28
ラインケーブルの使い方	12	A-B間リピート	28
外部マイク(別売・市販品)の使い方	13	録音した1つのファイルをリピートする	29
電池の入れ方	13	フォルダ内の全てのファイルをリピートする	29
時計を表示する(スタンバイモードについて)	14	リピートを解除する	30
		録音したファイルを削除する	31
		ファイルを1つ削除	31
		フォルダ内の全てのファイルを削除	32
4. 基本的な使い方	15	6. マイクロSDカードを使用する	33
電源の入れ方、切り方	16	7. パソコンで聞いたり、保存したりするには	39
ホールドスイッチの使い方	17	専用ソフトのインストール	39
カーソルキーの使い方	17	録音した音声をパソコンで聞いてみる	45
日付、時刻を設定する	18	ボイスレコーダーに録音されているファイルを	
音量を調節する	19	パソコンに保存する	47
各種設定 操作の流れ	20	パソコンに保存した音声のファイルを家族や友人に	
設定の方法	21	送る際に便利な機能	48
		パソコンのUSB端子から本製品を取り外すには	50


8. 本製品をパソコンでフォーマット(初期化)するには	52
9. ファームウェアアップグレード機能について	54
ファームウェアアップグレードソフトをパソコンにインストールする	55
ファームウェアアップグレードを実施する	59
10. インストールしたソフトウェアのアンインストール	62
11. データの取り扱いに関する注意	63
12. 著作権について	63
13. 故障かな?と思ったら	64
14. 製品仕様	66
15. 免責事項	68
16. お手入れの仕方	69
17. 付録	70
■画面メッセージ一覧	71
■いろいろな録音<接続の例>	73


保証書

1



安全上の警告および注意


※ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容を良くお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵の表示例

  記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」を表しています。

 ● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が描かれています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」ということを表しています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告

修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。
 ●火災・感電・けがの原因となります。



不安定な場所や傾いたところでは使用しない。
 ●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。



開口部やすき間から異物を入れない。
 ●火災・感電の恐れがあります。



自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。
 ●本体の変形・故障の原因となります。



水につけたり、水をかけたりしない。
 ●ショート・感電の恐れがあります。



雷が鳴り出したら本体に触れない。
 ●感電やけがの恐れがあります。

2 ご使用の前に

■ 電池に関する注意

下記の注意事項をよくお読みの上、必ず守るようにしてください。

- 必ず電池のプラス(+)、マイナス(-)を正しく挿入してください。
- 爆発及び破損の恐れがあるので、バッテリーを分解したり熱を加えたりショートさせたりしないで下さい。
- 長時間使用しない時は、バッテリーを抜いて保管して下さい。抜かない場合、液もれの原因となります。
- 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流して下さい。また、液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 指定された種類の電池を使用して下さい。
- 付属の電池はテスト用のサービス電池となっています。お客様のお手元に届くまでに消耗している場合がございます。その際は、お手数でも新品の電池（市販品）をお買い求めください。

■ 使用できる電池について

本製品でご使用になることができる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用ならないよう十分に注意してください。

- 単4形アルカリ乾電池（推奨：パナソニック、東芝、日立マクセル、サンヨー、SONY等の日本メーカーが生産している電池）
- ニッケル水素充電電池

<ご注意>

- ニッケル水素充電電池をご使用の際は電池残量表示が充電が満タンの状態でも半分ほど減っている状態になります。これはアルカリ乾電池を基準に残量表示を設定しているため、アルカリ電池の電圧が1.5Vに対してニッケル水素充電電池は1.2Vと低いため起こる現象です。製品の不具合ではございませんのでご了承ください。■ 日本以外のメーカーのアルカリ電池やニッケル水素充電電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。

3 はじめに

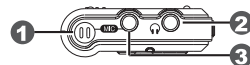
- 製品の特長
- 本体各部の名称
- 付属品一覧
- 画面の説明
- ステレオイヤホンの使い方
- ラインケーブルの使い方
- 外部マイク(別売・市販品)の使い方
- 電池の入れ方
- 時計を表示する(スタンバイモードについて)

■ 製品の特長

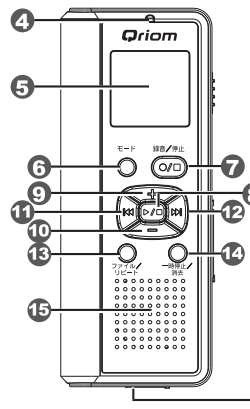
- 🐾 マイクロSDスロット搭載 (SDHC 16GBまで対応)
- 🐾 USB端子搭載
- 🐾 録音モード4段階切り替え
- 🐾 リpeat再生
- 🐾 USB電源で使用可能

■ 本体各部の名称

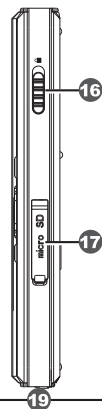
<本体上面>



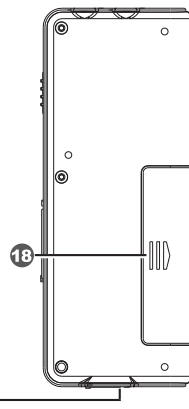
<本体前面>



<本体右側面>

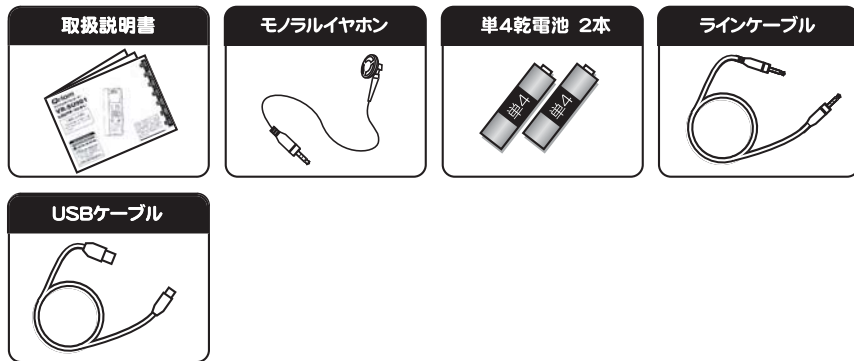


<本体裏面>

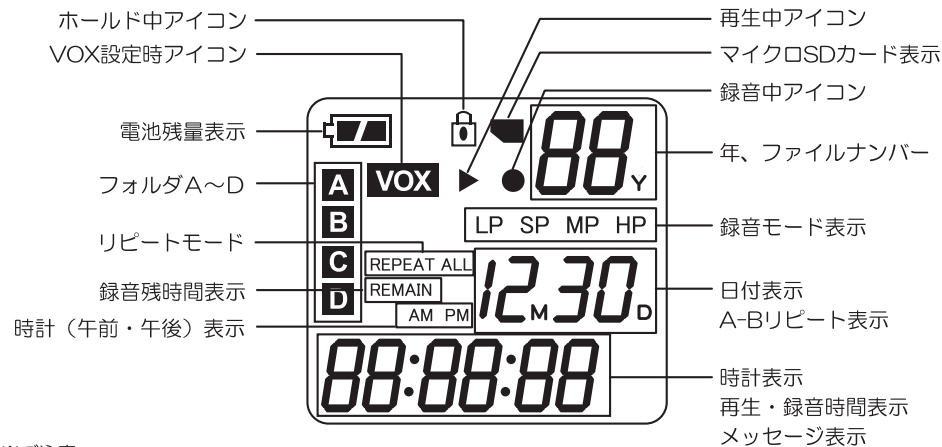


- ① 内蔵マイク
- ② イヤホンジャック
- ③ 外部マイクジャック
- ④ 録音LED
- ⑤ 液晶画面
- ⑥ モードボタン
- ⑦ 録音/停止ボタン
- ⑧ 再生/停止/スタンバイボタン
- ⑨ 音量+/カーソル上ボタン
- ⑩ 音量-/カーソル下ボタン
- ⑪ 早戻し/前のファイル/カーソル左ボタン
- ⑫ 早送り/次のファイル/カーソル右ボタン
- ⑬ ファイル/リピートボタン
- ⑭ 一時停止/消去ボタン
- ⑮ スピーカー
- ⑯ ホールドスイッチ
- ⑰ マイクロSDカードスロット
- ⑱ 電池ボックス
- ⑲ USB端子

■ 付属品一覧

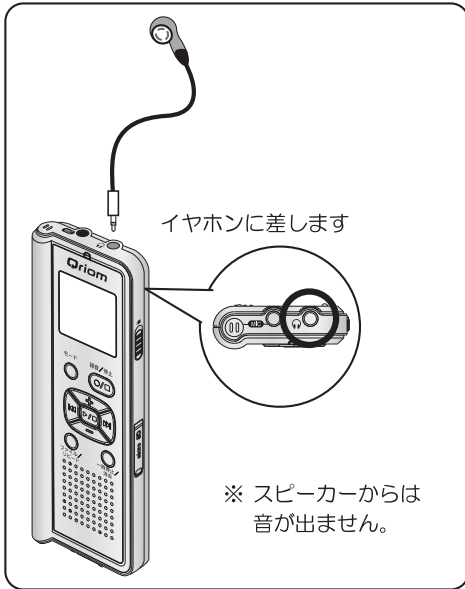


■ 画面の説明



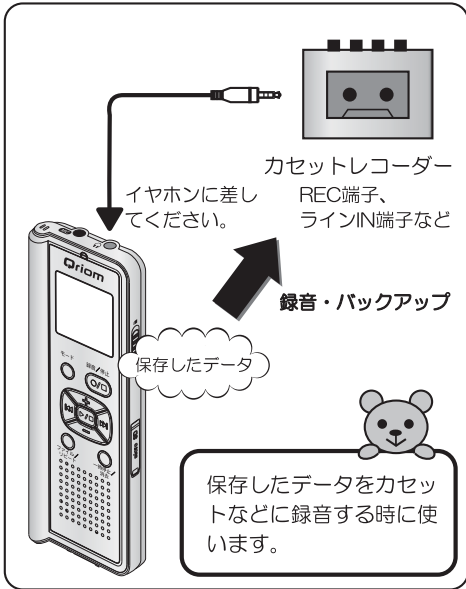
※ご注意
機能が切り替わる時などに、画面上に“init”と表示されますが、本製品の異常ではございませんのでご了承ください。

■ モノラルイヤホンの使い方

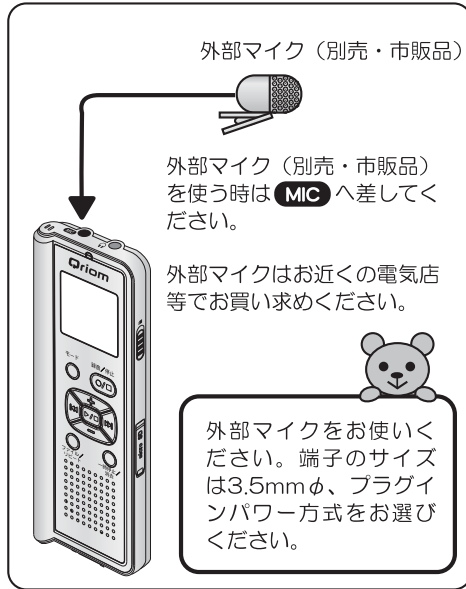


12

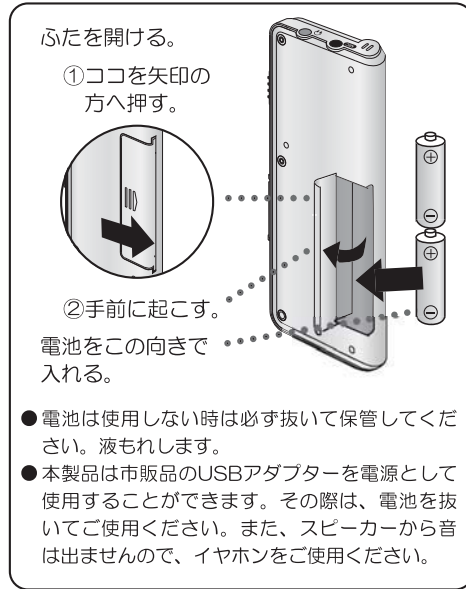
■ ラインケーブルの使い方



■ 外部マイク (別売・市販品) の使い方

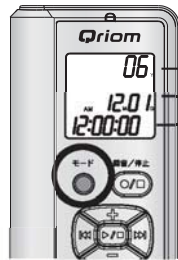


■ 電池の入れ方



13

■ 時計を表示する(スタンバイモードについて)



電池を入れるとすぐに時計表示モード(スタンバイモード)になります。

年
月/日
時/分/秒

電源を入れる時はすぐにモードボタンを押します。

※時計を表示している状態でファイル/リピートボタンを押す度に12時間表示と24時間表示が切り替わります。
(12時間表示の際は、AM又はPMが表示されます。)

.....
しばらく何もしないと画面が消えます。

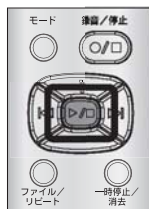
もう一度、時計を表示させる場合は、▶/■ボタンを押します。



- 電源の入れ方、切り方
- ホールドスイッチの使い方
- カーソルキーの使い方
- 日付、時刻を設定する
- 音量を調節する
- 各種設定
- 操作の流れ
- 設定方法
- 録音残時間を表示する
- 録音したファイルの録音日時を表示する

■ 電源の入れ方、切り方

<入れ方>



電池を入れると、すぐに時計が動きます。
(スタンバイモード)
※画面に何も表示されていない場合は ▶/■ ボタンを **短押し** して時計表示モードにします。



時計が表示されている時にモードボタンを **短押し** すると、スタンバイモードから、ボイスレコーダーモードになります。

<切り方>



再生ボタン(真ん中)を **長押し** するとスタンバイモードになり、時計が表示されます。
(待機状態)

そのまましばらく何もしないと、画面の表示が消えます。
(省電力待機状態)

※電源をオフにする場合は電池を抜いてください。



■ ホールドスイッチの使い方



スライドスイッチを上へスライドするとホールドオン。

ホールドをオンにすると全てのキー操作が出来なくなります。

誤動作を防ぎます。かばんの中等に入れる時に便利です。

■ カーソルキーの使い方



短押し

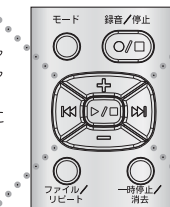
- 音量を上げる
- 各種設定時に項目を上へ移動

短押し

- ボイスのファイルを前のファイルへ移動。
- 各種設定時に設定値を変更。

長押し

再生の早戻し



短押し

- ボイスのファイルを次のファイルへ移動。
- 各種設定時に設定値を変更。

長押し

再生の早送り

短押し

- 音量を下げる
- 各種設定時に項目を下へ移動

■ 日付、時刻を設定する

画面に何も表示されていない場合は ▶/■ ボタンを **短押し** して時計表示モードにします。

モードボタンを **長押し** します。

カーソルキー下を5回押す。

モードボタンを **短押し** すると時計がセットされます。

「年」を設定します。
左右カーソルで選択し、▶/■ ボタンを押して決定します。

「月」を設定します。
左右カーソルで選択し、▶/■ ボタンを押して決定します。

「日」を設定します。
左右カーソルで選択し、▶/■ ボタンを押して決定します。

「時」を設定します。
左右カーソルで選択し、▶/■ ボタンを押して決定します。

「分」を設定します。
左右カーソルで選択し、▶/■ ボタンを押して決定します。

時計の設定は24時間制です。

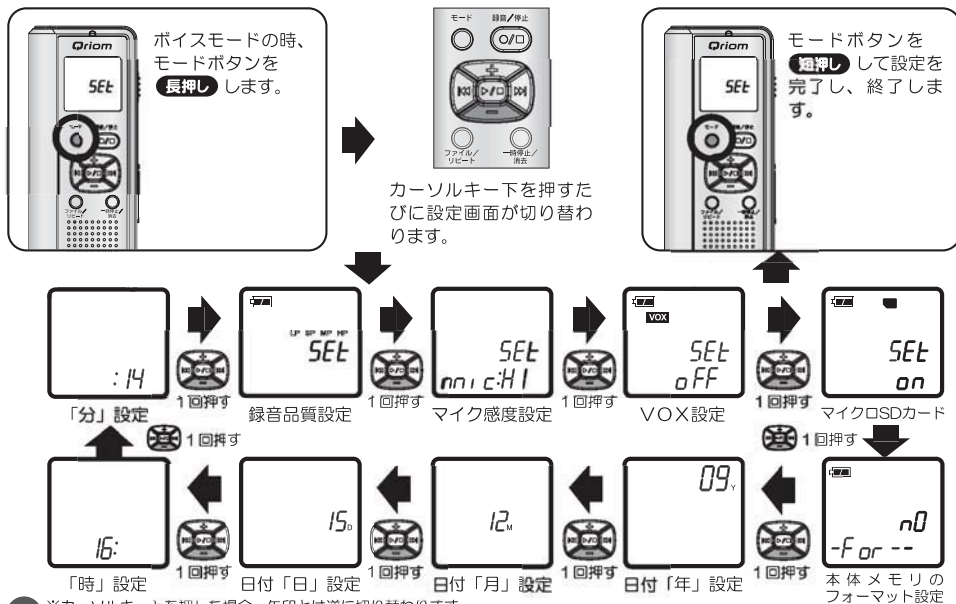
※注意
秒の設定はできませんので、ご了承ください。

■ 音量を調節する

音量が上がる

音量が下がる

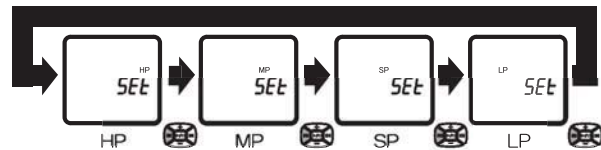
■ 各種設定 — 操作の流れ —



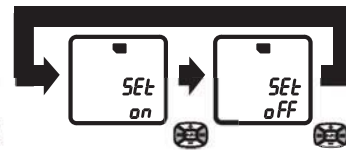
20 ※カーソルキー上を押した場合、矢印とは逆に切り替わります。

■ 設定の方法

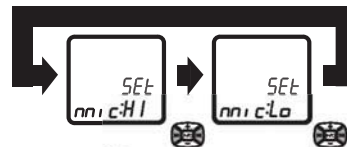
<録音音質設定>



<SDカード認識>



<マイク感度設定>



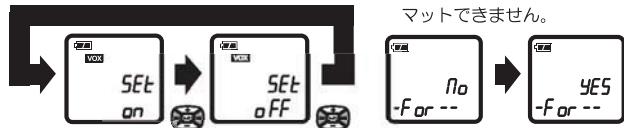
<時計設定>

時計の設定方法はP18をご参照してください。

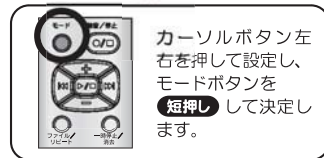
<本体メモリのフォーマット設定>

本製品で録音したデータを全て消去することができます。
※マイクロSDカードはフォーマットできません。

<VOX設定>



※録音音質設定で、カーソルを逆に押した場合は、矢印と反対の方向に切り替わります。



フォーマット設定を“yes”に設定し、モードボタンを**短押し**すると録音した内容を全て消去します。

<ご注意>
消去したデータは元に戻すことができません。フォーマットを実行する前にパソコンにデータを保存することをおすすめします。フォーマットは十分に注意して行ってください。

■ 録音残時間を表示する



録音残時間が表示されます。

録音中に ▶/■ ボタンを **短押し** します。

※残時間が100時間以上の場合、“秒”は表示されません。

録音中

■ 録音したファイルの録音日時を表示する



録音したファイルの録音日時が表示されます。
※年、秒は表示されません。

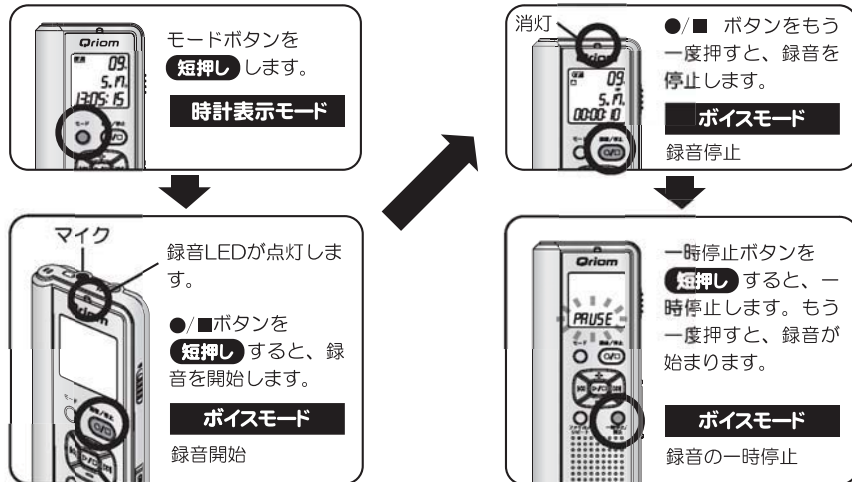
再生中に ●/■ ボタンを **短押し** します。

再生中

5 ボイスレコーダー

- 録音する
- 再生する
- 早戻し/早送り
- 一時停止
- リピート再生する
- 録音したファイルを削除する
 - ・ファイルを1つ削除する
 - ・フォルダ内の全てのファイルを削除する

■ 録音する



<ご注意>

録音中に電池がなくなったり、電池を抜いたりすると、現在録音中のデータは保存されずに消えてしまいます。電池残量が少なくなった時は、早めに現在の録音を保存し、新しい電池に取り替えるようにしてください。

■ 録音音質設定またはその他の設定を変更する場合は、P21を参照してください。

■ 最大録音時間の目安

LPモード：約282時間

SPモード：約70時間

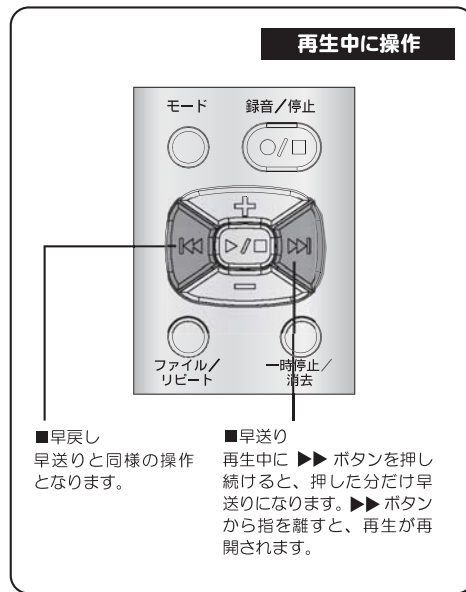
MPモード：約35時間

HPモード：約23時間

■ 再生する



■ 早戻し/早送り



■ 一時停止



■ リpeat再生する

<A-B間リpeat> ある地点“A”からある地点“B”間をリpeatします。

■ 地点“A”を決める

リpeatしたいファイルを再生します。
(▶/■ ボタンを押します。)



■ 地点“B”を決める

リpeatの終了地点を決めます。



<録音した1つのファイルをリpeatする>

1ファイルリpeat表示



再生中に操作

再生中に、リpeatボタンを **長押し** します。画面に“REPEAT”が表示されます。

<フォルダ内の全てのファイルをリpeatする>

リpeat ALL表示



再生中に操作

リpeat中に操作

リpeatボタンを **長押し** します。画面に“REPEAT ALL”が表示されます。

<リピートを解除する>

表示が消えます。



再生中に操作

リピートALL中に操作

リピートALLの時に、リピートボタンを**長押し**します。

■ 録音したファイルを削除する

<ファイルを1つ削除>

モードボタンを**短押し**して、ボイスレコーダーモードにします。



1ファイル削除完了



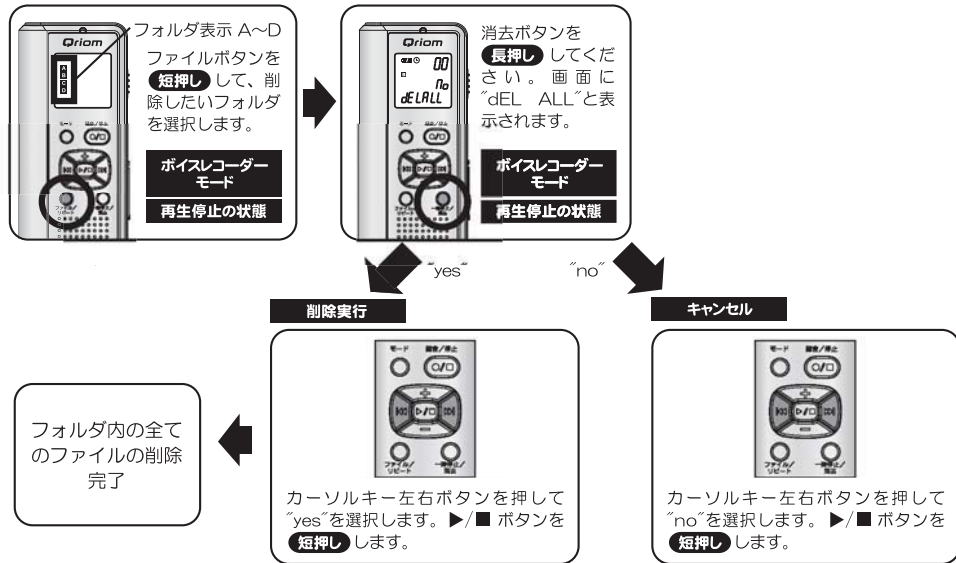
削除実行



キャンセル

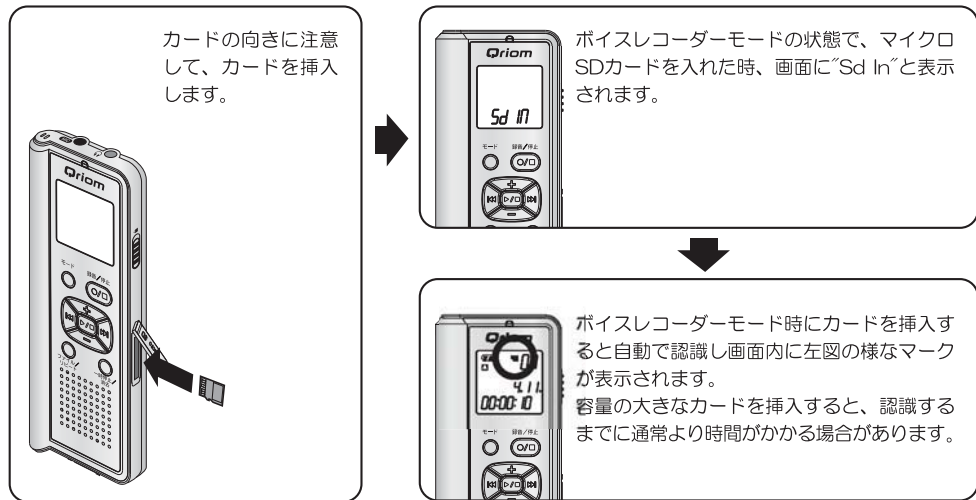


<フォルダ内の全てのファイルを削除>



6 マイクロSDカードを使用する

使用できるカードは、マイクロSDカードです。マイクロSDカードは2GBまで、マイクロSDHCカードは16GBまで対応しています。



ボイスレコーダーモード時にカードを取り出すと、以下の様な画面表示になります。



画面に「Sd Out」と表示されます。

時計表示（スタンバイモード）時にSDカードを入れても認識は致しません。電源をONにするとSDカードが認識されます。

☆ヒント☆

- カードが認識されない場合は電源のON/OFFを行ってください。
- 容量の大きいマイクロSDカードを使用すると、モードの切り替え時に本機への読み込みに時間が掛かる場合があります。「init」と表示されている時間が長くなります。

マイクロSDカードを本機へセットすると、録音した音声は自動的にマイクロSDカードへ保存されます。本体の内蔵メモリに保存したい場合は、マイクロSDカードを取り出してください。または、次ページを参照してマイクロSDカードから本体メモリへ設定を変更してください。

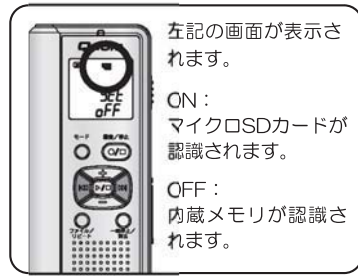
■マイクロSDカード/内蔵メモリを手動で認識させる場合



ボイスレコーダーモード時にモードボタンを **長押し** します。



画面表示が切り替わりましたら、下ボタンを3回押してください。



左記の画面が表示されます。

ON：
マイクロSDカードが認識されます。

OFF：
内蔵メモリが認識されます。



ON・OFFを選んでモードボタンを押ししてください。



マイクロSDカードを認識すると画面にマイクロSDカードマークが表示されます。

※本機にはマイクロSDカードのフォーマット機能はありません。

⚠ 注意

- 本製品にはマイクロSDカードは付属しておりません。
- 別売りのマイクロSDカードをお買い求め下さい。
- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- 本機付属ケーブル以外のUSB延長ケーブル、USBハブによるPCとの接続は動作保証対象外となります。
- マイクロSDカードのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- マイクロSDカードがフォーマットされていない場合、本機で認識する事が出来ません。あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。
- マイクロSDカードのメーカーや種類によって処理速度が遅くなる場合や正常に動作しない場合がありますのでご了承ください。

⚠ マイクロSDカードを本製品に認識させる際のご注意

本製品の電源が入っている状態で、マイクロSDカードをプッシュすると簡単にマイクロSDカードを認識しません。電源を入れる前からマイクロSDを入れている場合は、電源を入れた時にマイクロSDカードが認識されていない可能性があります。その際は電源が入っている状態でいったん、マイクロSDカードをプッシュして取り出し、再度プッシュして入れると簡単に認識します。電池を入れる前にマイクロSDカードを入れてしまった時も上記と同様にいったん、取り出し、再度入れるというようにすると簡単に認識します。

※電源をオフにする直前の状態がマイクロSDカードを使っていた場合は、再度電源を入れた時もマイクロSDカードを認識した状態で電源が入ります。

<録音について>

- 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。マイクロSDカード及び内部の音声データが破損する恐れがあります。
- マイクロSDカードへの録音は記録互換上まれに音飛びなどが生じる場合があります。これはマイクロSDカードの特性により発生するもので、本機の故障ではありません。お客様が記録されたマイクロSDカードの記録内容については、正しく録音されていることを確認していただくことをお勧めいたします。
- マイクロSDカードに録音する際の電池持続時間はマイクロSDカードのメーカー、種類により、変動致しますのでご了承ください。

⚠ 注意

- 使用後取り出した後は必ずケースに入れて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入すると故障の原因となります。貼られているラベルははがさないでください。
- ラベル・シールを貼らないでください。
- 金属端子部分に触らないでください。



SD、マイクロSD、マイクロSD HCGはパナソニック(株)、SanDisk Corporation、(株)東芝の登録商標です。

7**パソコンで聞いたり、保存したりするには**

録音した音声をパソコンで聞いたり、パソコンのハードディスクに保存するには、始めに、パソコンに専用ソフトをインストールして準備をしてください。

■ 専用ソフトのインストール

本製品の内蔵メモリーの中に、お買上時よりすでに専用のソフトが入っております。

⚠ 注意

- 付属のCD等は同梱されておりませんのでご注意ください。
- 誤って、ソフトを削除してしまった場合は弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。
- 本書ではWindows Vista®を使用して説明しています。Windows XP®をご使用の場合でもインストール方法は同様となりますが、お客様の環境により画面の表示やメッセージが異なる場合があります。
- インストールを開始する前に起動している全てのアプリケーションを終了してください。
- セキュリティソフトを起動している場合は、一時的に全てのセキュリティ機能をオフにしてからインストールを実行してください。

- 1** パソコンの電源を入れ、Windows®を起動します。

⚠ 注意

Windows® のご使用法はマイクロソフト社のホームページでご確認ください。Windows®のご使用方法に関してのご質問等は弊社では一切、承り兼ねますのでご了承ください。

- 2** 本製品のUSB端子とパソコンのUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。自動的にリムーバブルディスクとして認識します。



※パソコンに接続した後、本製品の再生/停止ボタンを長押しするとパソコンとの接続が解除されます。再度パソコンと接続するにはUSBケーブルを一度、本製品から取り外し、再度、接続してください。

- 3** 自動的にCDドライブというフォルダが開きます。

※自動的に上記フォルダが開かない場合
スタートまたはデスクトップからマイコンピュータをクリックしてフォルダを表示します。新しくできたCDドライブ（ドライブ名はお客様の環境により変わりますのでご注意ください）をクリックしてフォルダを表示します。

- 4** “TOOL”フォルダをクリックしてファイルを表示します。



次に“ICR_CONVERT”フォルダをクリックしてください。

- 5** “ICR_Convert_Setup”ファイルが表示されます。このファイルをクリックするとインストールが開始されます。インストールを開始する場合は“ICR_Convert_Setup”をクリックしてください。

＜ご注意＞

インストールを実行する際は、“管理者として実行”してください。

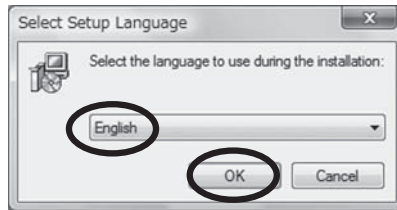


- 6** Windows®からユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、“許可”をクリックしてください。

- 7** セットアップが起動し、言語の選択画面が表示されます。“English”を選択して“OK”をクリックしてください。

＜ご注意＞

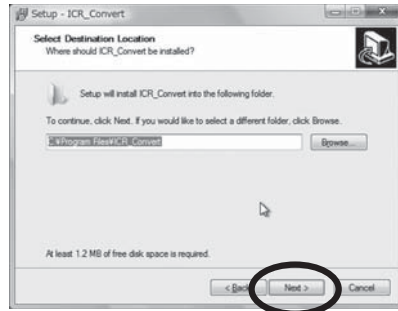
本ソフトは日本語表示に対応しておりません。ご了承ください。



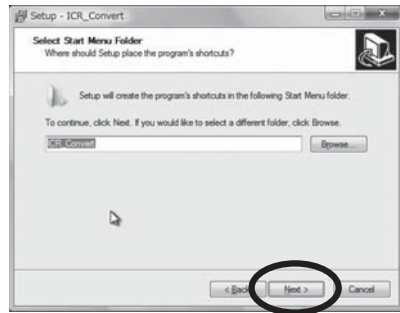
- 8** “Next>”をクリックしてください。



- 9** ソフトのインストール先のフォルダ名を入力します。特に変更の必要がない場合はそのままの状態です。特に変更の必要がない場合はそのままの状態です。特に変更の必要がない場合はそのままの状態です。で“Next>”をクリックしてください。



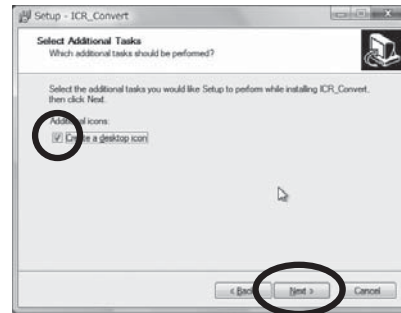
- 10** スタートメニューへ登録する際の名前を入力します。特に変更の必要がない場合はそのままの状態です。特に変更の必要がない場合はそのままの状態です。特に変更の必要がない場合はそのままの状態です。で“Next>”をクリックしてください。



- 11** デスクトップにアイコンを作成するかどうか聞いてきますので、チェックボックスをクリックして、“Next>”をクリックしてください。

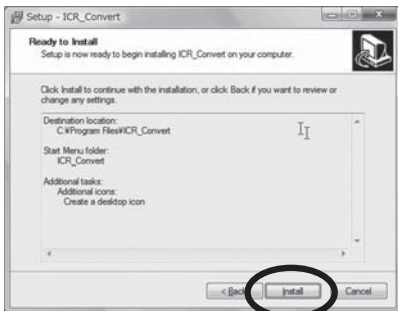
※ご注意

デスクトップにアイコンが必要な場合はチェックを外してください。



- 12** 10～12の設定で特に変更がない場合は“install”をクリックしてインストールを開始します。

※10～12の設定を変更したい場合は“Back”をクリックすると前の項目に戻ることができます。



- 13** 以上でインストールは完了です。下記のチェックボックスにチェックを入れて、“Finish”をクリックすると、インストールを終了後、ソフトが起動します。



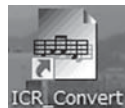
■ 録音したラジオや音声をパソコンで聞いてみる

- 1** パソコンと本製品をUSBケーブルで接続します。



- 2** パソコンにリムーバブルディスクとして認識されたことを確認します。（確認するにはマイコンピュータを開いてフォルダを表示します）

- 3** デスクトップ上にある“ICR_Convert”のアイコンをクリックします。

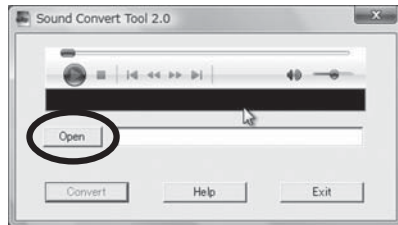


※ デスクトップに上記のアイコンがない場合は、下記のクリック操作を行ってください。
【スタート】→【すべてのプログラム】
→【ICR_Convert】→【ICR_Convert】

- 4** ソフトが起動して操作ウィンドウが表示されます。

<再生したい音声のファイルを選択します>

- 5** “Open”をクリックするとフォルダを選択するウィンドウが表示されます。



- 6** マイコンピュータ→リムーバブルディスク→“RECORD”という順番にクリックします。“A”“B”“C”“D”の4つのフォルダが表示されますので、聞きたいファイルが保存してあるフォルダをクリックします。



ファイルの種類のプルダウンBOXをクリックして“All Files (*.*)”を選択してください。

※リムーバブルディスクは、本体内蔵メモリとマイクロSDカードの2つがあります。

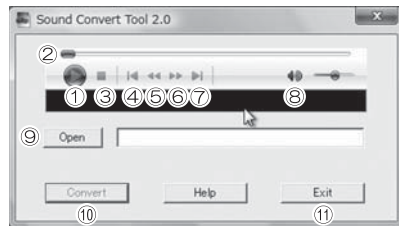
＜選択したファイルを聞いてみる＞

- 7** 再生ボタンを押すとすぐに再生が開始されます。

- 8** 音量スライドバーで音量を調整してください。

- 9** 各ボタンの機能は下記の通りです。参考にしてください。

- | | |
|------------|-----------|
| ①再生/一時停止 | ⑥使用できません |
| (Vista) | ⑦使用できません |
| ②再生位置スライダー | ⑧音量スライドバー |
| ③停止 | ⑨音声ファイル選択 |
| ④使用できません | ⑩データ変換機能 |
| ⑤使用できません | ⑪ソフト終了 |



■ ボイスレコーダーに録音されているファイルをパソコンに保存する

本製品で音声を録音してメモリーが一杯になってしまった場合や、残しておきたいファイルなどがある場合、本製品のファイルをパソコンに保存して残しておくことができます。

- 1** パソコンと本製品をUSBケーブルで接続します。



- 2** パソコンにリムーバブルディスクとして認識されたことを確認します。(確認するにはマイコンピュータを開いてフォルダを表示します)

- 3** マイコンピュータ→リムーバブルディスク→“RECORD”という順番にクリックします。“A”“B”“C”“D”の4つのフォルダが表示されますので、保存したいフォルダをマウスの左クリックでドラッグ(左ボタンを押したままにすること)し、そのままデスクトップ上の任意の場所でドロップ(左ボタンを離すこと)してください。

＜参考＞

ドラッグの代わりに右クリックしてコピーを左クリックし、デスクトップ上で再度右クリックして貼り付けを左クリックしても同様となります。

※リムーバブルディスクは、本体内蔵メモリとマイクロSDカードの2つがあります。

- 4** コピーが開始されますので、終了するまではパソコンと本製品のUSBケーブルを絶対に抜かないようにご注意ください。誤って抜いてしまった場合、ボイスレコーダーに保存されている元のデータが破損してしまうことがありますので、くれぐれもご注意ください。

- 5** 以上でデスクトップ上にボイスレコーダー選択したフォルダの内容が保存されました。

<参考>

デスクトップ上に保存したデータはマイドキュメントなど、お客様がいつもご使用になるフォルダに移動することをお勧めします。その際、フォルダ名を日付などに変更するとデータを整理する際に便利です。

変更前“D”→変更後“20090101”（2009年1月1日）

■ パソコンに保存した音声のファイルを家族や友人に送る際に便利な機能

前項でパソコンにファイルを保存しましたが、例えばこの保存したファイルを家族や友人などに送ったりする場合、保存したままのファイルでは他のパソコンで聞くことができません。本ソフトでは、保存したファイルをWindows Media Player 等の一般的なソフトで聞くことができるように変換機能が備わっています。以下に変換機能の使用方法を説明します。

※ご注意

ボイスレコーダーの録音モードの設定をLPモード（長時間録音モード）にして録音していた場合に限り本機能が必要となります。録音モードをSP、HPで録音したファイルは本機能を使用する必要はありませんのでご注意ください。SP、HPモードの場合はパソコンに保存したファイルをそのまま他のパソコンで聞くことができます。ファイル名の頭文字がSP***、HP***（***は任意の英数字）というように、それぞれの頭文字に録音モードと同じ名前がつけられて保存されます。

- 1** パソコンと本製品をUSBケーブルで接続します。



- 2** パソコンにリムーバブルディスクとして認識されたことを確認します。（確認するにはマイコンピュータを開いてフォルダを表示します）

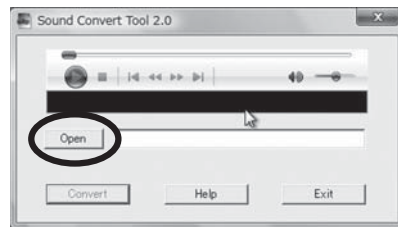
- 3** デスクトップ上にある“ICR_Convert”のアイコンをクリックします。



- 4** ソフトが起動して操作ウィンドウが表示されます。

<変換したい音声のファイルを選択します>

- 5** “Open”をクリックするとフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

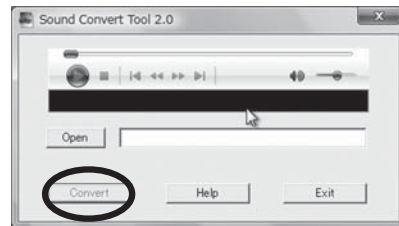


- 6** 変換したいファイルが保存されているフォルダをクリックします。

- 7** 保存されているファイルが表示されますので、変換したいファイルを選択して“開く”をクリックします。

<変換する>

- 8** “Convert”ボタンをクリックすると変換が開始されます。（元のファイルは残ります）



- 9** 変換後のファイルは元のファイルと同じフォルダに作成されます。


- 10** 作成されたファイルの形式は****.WAVとなります。
Windows Media Player[®]等で再生が可能となります。

※ご注意

Windows Media Player[®]のご使用方はマイクロソフト社のホームページでご確認ください。Windows Media Player[®]のご使用方法に関してのご質問等は弊社では一切、承り兼ねますのでご了承ください。

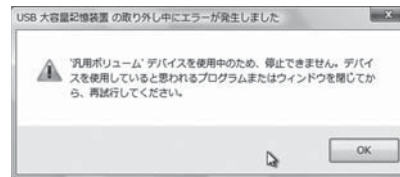
■ パソコンのUSB端子から本製品を取り外すには

パソコンのWindows画面の右下、“通知領域”にある“ハードウェアの安全な取り外し”をクリックしてリムーバブルディスクをクリックします。以上で本製品を安全にパソコンから取り外すことができます。



※ご注意 表示はご使用の環境によって異なります。

“ハードウェアの安全な取り外し”をクリックしても“使用中のため、停止できません”と表示されたり、“ハードウェアの安全な取り外し”のアイコンが表示されない場合はパソコンとのデータのやり取りが無い状態（パソコンのハードディスクのアクセスランプが消灯している等）を確認し、取り外すことができます。取り外す際は十分に注意し、行ってください。



⚠️ ご使用上の注意

- 安全にパソコンから本製品の取り外しを行うために、必ず手順を守ってください。間違った手順で取り外しを行った場合、データ損失や機器故障の原因になることもあります。
- 本製品を間違った手順で取り外したことによるパソコン本体などに関する機器のトラブルおよびデータの損失につきましては一切保証いたしませんのでご了承下さい。
- 本機とパソコンが通信中の際は本機をパソコンから絶対に取り外さないで下さい。

8 本製品をパソコンでフォーマット(初期化)するには

お手持ちのパソコンを使用して本製品の内蔵メモリーをご購入前の状態に戻すことができます。

- 1** パソコンと本製品をUSBケーブルで接続します。



- 2** パソコンに接続が完了したら、コンピュータ(マイコンピュータ)の中にあるリムーバブルディスクを探します。

- 3** ここからはお客様の環境により異なりますので十分に注意して作業を行ってください。本製品の内蔵メモリーに該当するリムーバブルディスクを右クリックします。



- 4** メニューが表示されフォーマットを左クリックします。

- 5** フォーマットのウィンドウが開きますので開始をクリックします。これでフォーマットは完了です。



⚠️ ご注意

フォーマットを実行すると、メモリーに保存されていたファイル、データは全て消去されます。元に戻すことはできませんので実行する際は十分に注意して行ってください。また、実行する前にパソコンのハードディスクなどにバックアップすることをお勧めいたします。ホールドスイッチをオンの状態にして、パソコンに接続した場合、パソコンでのフォーマットはできませんので、ご注意ください。ホールドスイッチをオフにしてパソコンに接続してください。本製品のメモリーに保存されているソフトウェアはフォーマットを実施しても消去されません。お客様が保存されたデータのみ消去されます。

9 ファームウェアアップグレード機能について

ファームウェアアップグレード機能は本製品の内部メモリーに記録されているファームウェア（本製品を正しく動作させるためのプログラム）を、お客様のパソコンを使用して、常に新しい状態にすることができます。

新しいファームウェアの入手先は弊社のQRIOMホームページに随時公開いたしますので、そちらからダウンロードしてください。

※特にプログラムに修正等が無い場合はファームウェアの公開はいたしません。

また、本製品の電源を入れても正常に動かない、トラブルシューティングを試しても動かない・・・そんなときはこのファームウェアアップグレードをお試してください。

本製品の機能はすべてこのファームウェア（プログラム）で動いています。このプログラムが何らかの不具合により異常をきたし、正常に動かなくなってしまうことがあります。そのような場合に、このファームウェアアップグレード機能でプログラムを新しく書き換えて初期状態に戻すことにより本製品を正常な状態へ戻すことが可能となります。（例えば・・・パソコンのリカバリーと同じような作業です。）

以下に、その手順を説明いたしますので、手順を守って慎重に実施してください。

<注意>

ファームウェアのアップグレードは必要に応じて実施するようにしてください。特に必要がない場合はアップグレードを行わず、本製品をそのままの状態でご使用ください。

<ファームウェアアップグレードを開始する>

■ ファームウェアアップグレードソフトをパソコンにインストールする

本製品の内蔵メモリーの中に、お買上時よりすでに専用のソフトが入っております。

⚠ 注意

- 付属のCD等は同梱されておりませんのでご注意ください
- 誤って、ソフトを削除してしまった場合は弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。
- 本書ではWindows Vista[®]を使用して説明しています。Windows XP[®]をご使用の場合でもインストール方法は同様となりますが、お客様の環境により画面の表示やメッセージが異なる場合があります。
- インストールを開始する前に起動している全てのアプリケーションを終了してください。
- セキュリティソフトを起動している場合は一時的に全てのセキュリティ機能をオフにしてからインストールを実行してください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows[®]を起動します。

<ご注意>

Windows[®]のご使用方法はマイクロソフト社のホームページでご確認ください。Windows[®]のご使用方法に関してのご質問等は弊社では一切、承り兼ねますのでご了承ください。

2 本製品のUSB端子とパソコンのUSB端子を付属のUSBケーブルで接続します。自動的にリムーバブルディスクとして認識します。



3 自動的にCDドライブというフォルダが開きます。

※自動的に上記フォルダが開かない場合

スタートまたはデスクトップからマイコンピュータをクリックしてフォルダを表示します。

新しくできたCDドライブ（ドライブ名はお客様の環境により変わりますのでご注意ください）をクリックしてフォルダを表示します。

4 “TOOL”フォルダをクリックしてファイルを表示します。

次に、“RDISKUPDATE”フォルダをクリックしてください。



5 “RDISKUPDATE_SETUP”をクリックしてインストールを開始します。

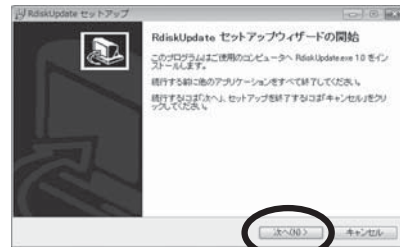


6 Windowsからユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、“許可”をクリックしてください。

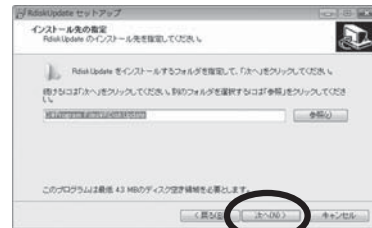
7 “Japanese”を選択して“OK”をクリックしてください。



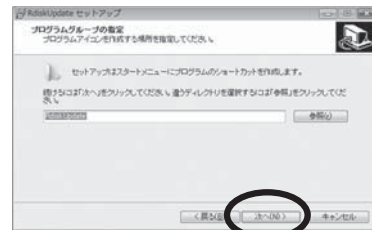
8 “次へ”をクリックしてください。



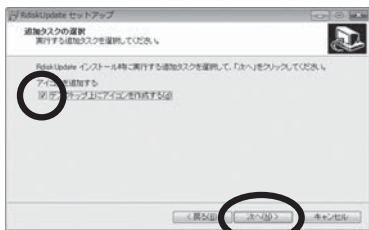
9 インストールするフォルダを指定します。通常は変更せずに“次へ”をクリックしてください。



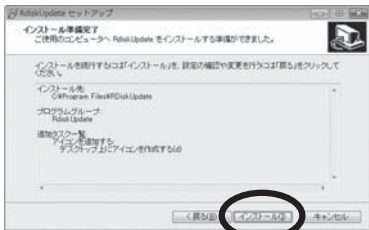
10 スタートメニューにショートカットを作成します。通常は変更せずに“次へ”をクリックしてください。



- 11** “デスクトップ上にアイコンを作成する”にチェックを入れて、“次へ”をクリックしてください。



- 12** インストールをクリックしてください。



- 13** “RdiskUpdateを実行する”のチェックを外してください。
“完了”をクリックするセットアップが終了します。



■ ファームウェアアップグレードを実施する

※ご注意

ファームウェアアップグレードを実施する前にお客様が録音した音声やラジオのデータをパソコンに必ず、保存するようにしてください。

ファームウェアアップグレードを実施するとお客様が本製品に録音したデータが全て削除されてしまうことがありますのでご注意ください。（P54参照）

- 1** ファームウェアを弊社のQRIOMホームページ (<http://www.qriom.com/>) からダウンロードしてお客さまのパソコンのデスクトップなどに保存してください。

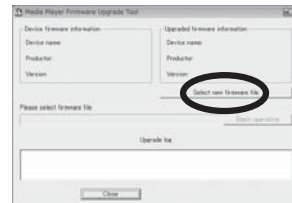
- 2** Windows®のデスクトップ上にある“RdiskUpdate”をクリックして起動します。



※ デスクトップに上記のアイコンがない場合は、下記のクリック操作を行ってください。

【スタート】→【すべてのプログラム】→【RdiskUpdate】→【RdiskUpdate】

- 3** ファームウェアアップグレードツールが起動します。“Select new firmware file”ボタンをクリックしてください。



- 4** **1** でダウンロードしたファイルを選択して“開く”をクリックしてください。

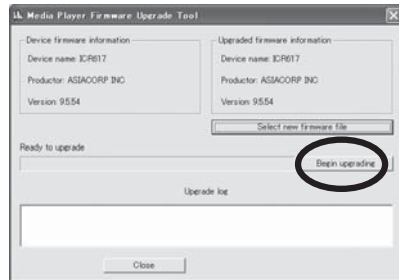
- 5 パソコンに本製品をUSBケーブルで接続してください。



- 6 “Begin upgrading”をクリックしてください。ファームウェアアップグレードが開始します。

<ご注意>

ファームウェアアップグレード中は絶対に本製品をパソコンから取り外さないようにしてください。誤って取り外してしまった場合、本製品が破損してしまうことがありますのでご注意ください。



- 7 “OK”をクリックすると、ファームウェアアップグレードは正常に終了します。

※ご注意

本製品の画面にUSBと表示された後、パソコンから本製品を取り外してください。



※ご注意

ファームウェアアップグレードが正常に終了した後、本製品の電源が入らない場合がありますが、本製品の異常ではありませんのでご了承ください。その際は、パソコンと本製品をUSBで接続し、パソコンでフォーマットを実施してください。(P52 「本製品をパソコンでフォーマット(初期化)するには」をご参照ください。)

10 インストールしたソフトウェアのアンインストール

- 前項でインストールした2つのソフトウェアをWindows® からアンインストールする場合はWindows®のコントロールパネルからプログラムと機能（Windows Vista®）を選択します。
※Windows XP®ではコントロールパネルから“プログラムの追加と削除”を選択します。
- アンインストールしたいソフトを下記のリストからクリックして、アンインストールをクリックします。
- 以降はWindows®からのメッセージに従ってアンインストールを実行してください。



11 データの取り扱いに関する注意

- パソコンにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意してください。当社、および本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、いっさいの責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、USB接続によりパソコンに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

12 著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

13

故障かな・・・?と思ったら

故障かな・・・?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

電源

■ 電源が入らない。

- ・電池残量が少ない。
▶新しい電池に交換してください。
- ・電池の+、-が逆。
▶正しく電池を入れ直してください。
- ・ホールドになっている。
▶ホールドスイッチをオフにしてください。
- ・動作がおかしい。
▶電池を一旦抜いて、再度入れ直してください。

イヤホン

■ 音声がイヤホンから聞こえない。

- ・イヤホンがきちんと奥まで差さっていない。
▶イヤホンの端子を持って奥まできちんと差し込んでください。
- ・イヤホンをマイク端子に差している。
▶イヤホンはイヤホン端子に差し込んでください。
- ・音量が小さい。
▶音量を大きくしてください。

録音・再生

■ 録音がうまく出来ない。

- ・ホールドになっている。
▶ホールドスイッチをオフにしてください。
- ・録音時間、録音件数がいっぱいになっている。
▶いくつかのファイルを削除してください。
- ・電池残量が少ない。
▶新しい電池に交換してください。

■ 再生がうまく出来ない。

- ・ホールドになっている。
▶ホールドスイッチをオフにしてください。
- ・電池残量が少ない。
▶新しい電池に交換してください。

14 製品仕様

型番	VR-SU901
液晶	セグメントLCD
対応ビットレート	LP : 8Kbps、SP : 32Kbps、 MP : 64Kbps、HP : 96Kbps
内蔵メモリ	1GB ※1
外部メモリ	マイクロSD 2GB/ マイクロSDHC 16GB (最大)
出力端子	イヤホン端子φ3.5mm モノラル
入力端子	外部マイク端子φ3.5mm モノラル
S/N比	44dB以上
最大出力レベル	イヤホン : 5mW スピーカー : 100mW
録音再生周波数範囲	300Hz~3000Hz
外部インターフェース	USB (Rev.2.0準拠)
USBデータ転送速度	最大 : 6Mbps
電源	3V 単4形アルカリ乾電池 2本 (待機電流 : 1.5mA)

連続再生/録音 電池持続時間	再生 : 約12時間 (スピーカー音量5) 録音 : 約15時間 (HPモード時) ※2	
最大録音時間 (内蔵メモリ)	LP	約282時間
	SP	約70時間
	MP	約35時間
	HP	約23時間
外形寸法	W45×H110.5×D14mm	
重量 (本体のみ)	約42g	
パソコン環境	Windows XP、VISTA	
その他機能	VOX機能 (音声感知録音)	
	内蔵スピーカー	
	内蔵マイク	
	マイク感度設定機能	
	フォルダ数4、各フォルダ99 ファイル、合計396ファイル 保存可能	

その他機能	時計機能
	A-B間リピート機能
	リピート1、ALL機能
	マスタートレージ機能
	変換ツール (パソコン用ソフト)
付属品	モノラルイヤホン 単4形アルカリ乾電池 2本 ラインケーブル USBケーブル 取扱説明書

※1 実際のメモリー容量は、本体を動作させるためのシステム領域と付属のソフトウェアが収録されているため、1GBよりも小さくなります。

※2 アルカリ電池使用時に限ります。

- 本取扱説明書の内容は、予告無しに変更する場合があります。
- 電圧の低い乾電池をご使用の時、正常に動作しない場合があります。

15 免責事項

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはQriomサポートセンターにご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
 - ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
 - ③本製品のために費やした時間、経費
 - ④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
 - ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常
- また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

16 お手入れの仕方

<本体の清掃>

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お 願 い

- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。



- 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。



17 付録

- 画面メッセージ一覧
- いろいろな録音<接続の例>

■ 画面メッセージ一覧

FULL

- 録音時間がいっぱいになった時に表示されます。
 - ▶ いくつか録音したデータを消さないと録音できません。
- 現在のフォルダで録音したファイルが99個の時に表示されます。
 - ▶ いくつか録音したデータを消さないと録音できません。

EtT

- 再生の時や、削除の時、その他、異常が発生した時に表示されます。
 - 何も操作が出来なくなったり、元に戻らない時は電池を入れなおしてください。

Init

- 機能切替や画面切替時に表示されます。

■ 画面メッセージ一覧

Init

- 機能切替や画面切替時に表示されます。

READ

- ボイスレコーダーモードでフォルダを切り替える時に表示されます。

REC

- 録音開始直前に一瞬だけ表示されます。

SAVING

- データの保存中に表示されます。

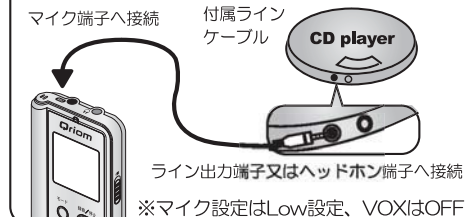
■ いろいろな録音 <接続の例>

付属のラインケーブルや別売のマイク(市販品)を使って、いろいろな録音ができます。

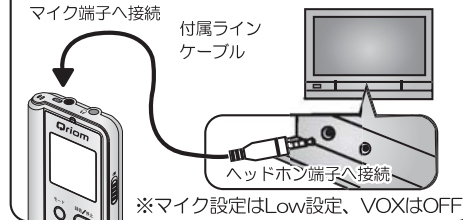
外部マイク(別売・市販品)を使用して録音する



CDプレーヤーから音楽を録音する



テレビの音声を録音する



録音した内容をテープレコーダーに保存して残しておく

